

医療観光の将来イメージ(3類型)

I 「健診」×観光

- 健康診断(人間ドック)、PET検診等の高度な技術と医療機器。
- 日本独自のホスピタリティ&観光ノウハウによる高付加価値化。
- 旅そのものの充実のほか、定期的な診断によるリピーター化、新たな観光需要の喚起、そして地域活性化を目指す。

今後の課題： 検診ツアーの販売拡大、地域の医療機関への誘客、治療が必要となった場合の対応 等



II 「治療」×観光

- 先端医療分野における世界トップクラスの医療水準。
- 家族等の同行者の滞在プランの一つとして、周辺地の国内観光をオプション化。
- 海外からの患者の呼び込みにより医療の振興と国際競争力の更なる向上を目指すとともに、同行者も含めた旅の安全・安心と充実を図る。

今後の課題： 医療事故等のリスク負担、渡航・滞在時の緊急時対応、治療費の支払い方法、帰国後のアフターケア 等



III 「美容・健康増進」×観光

- 長寿大国日本が誇る温泉療養、美容エステ、健康食等の癒し・美容・健康文化。
- 医療観光の裾野拡大、長期滞在化、そして地域全体としての交流人口拡大を目指す。

今後の課題： 日本の癒し・美容・健康文化の海外情報発信、認知度向上 等

